

働って?!

働く人と接する体験学習活動の「職場体験」。清瀬市立図書館でも今年度12月までに、14人の中学生の皆さんが図書館業務を体験してくれました。

将来の仕事について、また「働く」という事について、図書館の本を通じて様々な世界をのぞいてみませんか？

お仕事全般について知りたい

『大人はどうして働くの?』

宮本 恵理子 著/日経BP社



『新13歳のハローワーク』

村上 龍 著/幻冬舎

『ハケンアニメ!』

辻村 深月著/マガジンハウス

アニメ製作に興味のある人に
おすすめの本はこれ!!

『迷いアルパカ拾いました』

似鳥 鶏 著/文藝春秋

動物園の飼育員について
知りたい人にはこれ!!

『真夜中のパン屋さん』

大沼 紀子著/ポプラ社

映像で実写化され
興味かわいた人に、
おすすめ本はこれ!!

『神去なあなあ日常』

三浦 しをん 著/ 徳間書店

Teens Joy

10代のみなさんへのおすすめ図書リスト



No.24 2016.2

清瀬市立図書館

おなやみ相談部

みうら かれん／著
講談社



この本は、なぜか人の悩みを聞く部活の部長になってしまった彼女をめぐる、テンポ良くストーリーが進んでいきます。

主人公中1の八枝は、「環境部」というよく分からない部活に入りましたが、部員はたった一人のため自分が部長ということになってしまいました。

「校内の環境をよくする部活」環境部は、生徒たちの色々な悩みを聞くこととなりますが…。

八枝は、思いがけない数々の悩みを解決できるのでしょうか？

是非、読んでみてください。

<中央図書館 栗原>

平成23年3月11日（金）午後2時46分に発生した東日本大震災は、大津波により東北各地に壊滅的な被害をもたらしました。

この本は、震災の被害を前にしたAKB48のメンバーの「自分たちに何か出来る事があるだろうか？」の問いかけから始まった、被災地訪問ステージの活動を記録しています。

未来へ羽ばたく10代の皆さん。人と人とのつながりや地域の「絆」の大切さ、誰もが安心して暮らし続けられる「街づくりの心」を学んでください。皆さんが人生と言うステージで、活躍するための何かを教えてください。本です。

<駅前図書館 三上>

AKB48、被災地へ行く

石原 真／著
岩波書店



物語の主人公は反抗期真っ只中の息子・加奈太と、シングルファザーの父親・征人です。

自分も14歳だったことはあるけれど、反抗期真っ只中の息子とどう向き合えばいいのか分からない征人と、中二病真っ盛りの加奈太。

まあ、上手くいくわけもないので、二人は征人の故郷「神様の島」で夏休みを過ごすことにします。

反抗・青春・自意識過剰…14歳を飾る言葉は様々ですが、父親の14歳と息子の14歳が交錯するこの物語は、とてもキラキラしています。

<中央図書館 伊藤>

14歳の水平線

柳月 美智子／著
双葉社



今日も嫌がらせ弁当

ttkk(Kaori)／著
三オブックス



三年間、お弁当を作り続けた母と、食べ続けた娘。今話題のシングルマザーと反抗期の女子高校生のお弁当エッセイです。

高校生になって反抗期が始まり、生意気な態度や無視を繰り返す娘に対し、お弁当で仕返ししようと考えてる母。最初はキャラ弁だけだったのに、そのうちチーズの上に海苔をのせ、時には厳しく時には優しい娘へのメッセージが込められるようになります。

それは、嫌がらせと言いながら、本当は真剣に娘のことを思う母の愛情でした。

娘を思う母親と、毎日嫌がらずに食べた娘。そんな、親子の絆が感じられる本です。

<中央図書館 根岸>